

第6次総合計画策定に係る【北部】地区懇談会 会議録

開催日・出席者等

開催日時 令和2年8月5日(水) 19時00分から20時30分まで
場 所 北部公民館 2階大広間
出席者 竹節町長、総務課長、税務課長、企画係長、企画係員

会議事項・懇談内容

- 1 開会(総務課長)
- 2 挨拶(竹節町長)
- 3 第6次山ノ内町総合計画について(企画係員)

懇 談

- 【発言】 懇談会参加者意見
【回答】 役場出席者意見

【発言1】

第6次計画になって、やっと人口の問題にかなり深く切り込んできたなと感じている。団塊の世代がお亡くなりになるのが多いから人口は減るが、前から申し上げているとおり、危機感を持つべきは出生減。団塊の世代が産まれた頃は、山ノ内中学校で40人クラスが14とかありましたが、今山ノ内町内で出生するのは昨年が41人、その前は55人、平均は50人と見るべき。出生だけを見ても80年後には人口4,000人というのがギリギリの数字。町でも地区でも詰まる場所はマンパワーで、人がいなければ成り立たないわけだ。個人の自由に繋がることなのでなかなか言えない事で、語弊があるかもしれないが、諸々の根源は結婚。山ノ内町は未婚の方が77市町村の一番下だと聞いている。全国的にみても非常に低い。社会福祉協議会等でもいろんな事業を委託してやっていただいているが、よほど本腰を入れないとダメで、基本計画で飾り上げても、具体策・取組をしっかり練らないとダメだと思う。来年度から地に足をつけた具体的な政策をどのように展開していくつもりか。民間の事業者は1件1件電話をかけて、お宅には未婚の方いらっしゃいますか、という風に、そこまでやっています。町内の未婚の方々に結婚していただいて、お子さんを育てていただくことが一番のことで、高齢化の進行の観点からも非常に重要なことかと思う。基本計画に入れるその辺のところの町の覚悟を伺いたい。

【回答1】

町の考え方というよりも総務課の立場で申し上げるが、結婚をされない方が増えている

のは皆さんご承知のとおりで、私も承知している。何が背景にあるかというのは申し上げづらい部分があるが、やはり個人の自由が優先されて、公共の福祉とかそういった部分のことが段々薄れてきているという状況の中で、こんな言い方が良いのかわからないが、昔だと結婚しないと一人前でないという時代に私どもは育ってきたが、今はそんなこと言ったらパワハラ・セクハラと捉えられる時代になってきているということも、ひとつの大きな要因ではないかなと思っている。では、そういったものをどういう風に婚姻に結び付けていくのかとなると、例えば婚姻に対する支援、金銭的な支援もそうかもしれないが、婚活の場の提供、社会福祉協議会でそういったこともやっていただいているわけだが、その辺の強化をぜひ行っていきたい。どういう形にしていくかについては、今ここで具体的に申し上げることはできないが、いずれにしても町の社会福祉協議会だけに任せていくということではなく、町もある程度加わっていくことが必要になってきていると考えている。その辺は前期の基本計画の中に入れていきたいと感じている。

【回答 1 - 1 - 2】

人口の関係をもう少し詳しく参加の皆さんにご説明したいと思う。出生率については、現状町が 1.35 で、人口が均衡するのが 2.07 と示されている。ご夫婦 2 人から 2 人が生まれれば±0 という計算ですが、1.35 からどのくらい頑張ればどのくらい上がるのかという指標として、国調査による希望出生率がある。結婚しているいないを問わず、何の条件も考えなければ、結婚したいか否か、結婚したい方はどのくらい子どもが欲しいか調べたものがある。それが出生率 1.84 と言われています。町の現状はそれと比べるとかなり低い。婚活の支援であったり、子供を産んでも育てやすい・育てていけるという環境整備であったりを実施する中で、1.84 までは上げていかななくてはいけない。直近の目標として、私はそう考えている。また、それは実現できる目標だと思うので、まずはそこを目指して頑張っていかなければならないと、担当としては考えている。

【発言 1 - 2】

現実的には難しいことだと思うが、行政だけではなく共助（民間と協力する）していくことを考えたらどうか。私の言いつばなしで結構です。

【発言 2】

こちらへ移住して 7 年が過ぎた。40 代の頃からこちらへ来たかったが、仕事の関係とか様々なことで来られなかった。今考えてみれば、もっと情報があればもっと早く来られたのではないかなと思っている。大阪で仕事していたが、周りを見渡しただけでも長野県へ 4、5 名移住している。大阪にいたころに長野県に移住したいという人はたくさんいた。リタイアする直前だが、同じ学校の若い先生は長野に住みたいからと教員試験を受けていた。情報として知っていてほしい。

こちらへ来てびっくりしたのは、町が懇談会等で住民の意見を聞こうとしてくださるということ。これまで暮らした地域の行政ではなかった。一方で、深いところまで聞いていただいているかということ、決してそうではないと感じる。今回の計画でも、高齢者の問題

については極めて少ない内容になっていると感じる。この先ここで20年暮らしていけるのかという不安がある。それは何故かという、店がなくなった、学校がなくなった、農協もなくなった、バスまでなくなってしまったということ。バスの問題については町が頑張っていたらコミュニティバスがあるが、残念ながら中野まで行けない。中野の意見もあると思うが、例えば中野へ乗り入れたときに、本当に住民の足になるのかというのが私たちに見えない。中野で病院やスーパーに行きたいというときに、あっちこっち回って結局1日かかってしまったということがあるのではないかと。そういったことをもっと早く住民と深く話し合いをしておいていただきたいと思うが、残念ながら高齢者に対する話し合いが玄関先へ行くようなものではなく、内容がオンラインとか、パブリックコメントとか、ホームページを見てくださいというけれども、ホームページ見られるお年寄りがどれだけいるのかという気がする。SUGUメールもQRコード読みとることも私らはできません。今風のやり方をやっていただくことは結構だが、もっと住民の立場に立った聞き取り方をしてもらったほうが良いのではないかと、外から見て思う。

観光の面でも、私が来た頃はまだまだマシだった。サルがいなくなったらどうするのかと感じていたが、案の定、サルはいなくなっていないがコロナの関係で外国人が来なくなっている状況で、もっと違うことを考えておいたほうが良かったのではないかな、と思いながら過ごしている。

先のことをもっと行政として前向きに捉えていただきたいと思う。はっきり申し上げて今回の冊子も字面はきれいだが、具体化が見えてこない内容。例えば私がいた町でも学校がなくなる話があった。そこは住民の意見等を踏まえて、学校に行きにくい子どもが通う学校という形で、創意工夫の中で学校が生き返ったという例もある。そういう部分がどうしても深く話し合いできないのかなと。痒いところを服の上から搔いているような気がしている。

【回答2】

広報の仕方というのは、かつては全戸配布、有線放送をやって町からのお知らせをしていたものが、最近はいろいろな媒体があるので、ホームページとか戸別受信機とかSUGUメールといった様々の形で行政からのお知らせをしていると捉えている。一方で、他の会場でも指摘があったが、広報の仕方が、誰用に広報しているのかというのが見えないと言われている。例えば移住したい県外や他市町村にいらっしゃる方に町の情報がわかることが必要ではないかということも言われたし、住民懇談会をいろんな分野において実施することもご指摘のように必要だと感じているので、今後いろんな形の中で、広報の仕方とか、皆さんに寄り添った形のを研究しながらより良く充実できるように工夫していきたいと考えている。高齢者の問題が今回の資料では少ないところがあるが、全体の計画の中では各課で問題視していると思っている。今回住民懇談会ということである程度絞った中でお示ししているのでも若干欠けている部分もあると思うが、その辺はご容赦いただいて、不足していると思われる部分はなおのことご意見いただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【回答 2 - 1 - 2】

基本計画の項目が資料の9ページの白い枠の部分になる。今回の資料では項目しか出してないが、実際の前期基本計画にはそれに関する取り組みについての記述がある程度詳しく示していくということですので、先ほどご意見のあった地域や高齢者や障がい者の福祉であったりする部分に肉付けされて計画がつくられていくことになる。最終的に金はどうするんだという話になったときには、実施計画というのがあり、3カ年の計画となる。ここには予算をいくら投じて、どういった事業にあてていくというところまでつくられていく。最終的には3年の実施計画から単年度の予算ということになるが、おおまかにはそのような形で計画が進んでいくということになる。今のご意見を有難く頂戴し、できるだけ皆さんの意に沿っていきたいと考えている。

【発言 3】

楽ちんバスについて思っていることがある。

楽ちんバスは長電バスが廃止になり、実証運行から合わせて町の計画で丸3年経つかと思う。実施計画が3年間であることと兼ね合わせると、楽ちんバスも大きく見直していく必要があるのではないかと個人的には思っている。具体的には、中野市への須賀川からの乗り入れを、強力に実施に向けてお願いしたいと思っている。聞くところによると、現在のところ中野市との協議は行っていないと。今年度は北陸信越運輸局が交通計画策定セミナーを開催するから、そこに参加して見識を深め、そして中野市に出向き、網形成計画策定の中野市の進捗状況を把握したうえで、山ノ内町の計画策定に繋げると聞いているが、私自身としては町の姿勢が弱いと思うので、強力にこちらが頭を下げて、ぜひ乗り入れさせてくれという強い思いをまず1つ申し上げたい。

2つ目は、今まで楽ちんバスが回っていなかった須賀川区内だが、回ってなかったところも回っているということですのでごく改善されてきたが、その一方で診療所は相変わらず通っていない。極端な話、金曜日の午後だけでも診療所を通すことはできないのかという思いがある。加えて、勝手かもしれないが、須賀川地区を巡回するようなコミュニティバスが実現できたら素晴らしいと思う。

須賀川線は廃止になったが、菅線は廃止代替という言い方で長電バスが残ったことは、同じ町内でのこの差はなぜあるのかというのはずっと疑問に思っていた。やはり3年という実施計画の中で根本から見直してほしい。必ずしも昔のようにしてほしいということではないが、お年寄りも亡くなっていくし、利用者も当然減ることはわかっていることだが、そこで困っている交通弱者のために町は暖かい手を差し伸べていただければと思う。

【回答 3】

先日セミナーに参加し、計画のつくり方を学んできたところだが、これから紐解きながら作業を進めていきたいと考えている。

ちなみに昨年度の楽ちんバスについては、総乗車数が7,472人でした。西北部ルートは6,040人ということで、1日平均としては16.5人となっている。ちなみに費用については、楽ちんバスの運行で委託等含めて、1,300万強となっている。

中野市の乗り入れということでご意見いただきまして、私も今年からで詳しいところは申し上げられないが、前任から聞いている話の中では、民間事業者への圧迫等も考えながら対応すべきだという引継ぎを受けておりますので、その辺を含めて考えていかなければと思っている。ですので、今の時点で乗り入れを計画するしないは申し上げづらいことをご理解いただきたい。運行ルートの関係についても、ご意見いただく中で、できるだけ考えられる範囲で対応していきたいと思いますが、その辺含めて今後の課題ということでお聞きさせていただく。

【発言4】

子どもが小学6年生と中学2年生にいる。コロナの自粛で学校に行けない期間が1か月くらいあってどうなることかと思ったが、この地域の良いところで、子どもがずっと家の中にいるわけでもなく、この地域だからこそ外で遊んだりとか、中学生のお兄さんお姉さんと一緒に遊ぶことができたりというところで、この土地の良さを改めて感じた。

先ほどブランド化ということがあったが、りんごやぶどうの山ノ内のブランド化は進んでいて有名だと思うが、土地のブランド化があまり進んでいないと思う。冬に学生がたくさんスキーに来るが、その道中でホテルの廃墟があったりというのを都会の子が見ると、言い方が悪いかもしれないが、さびれてしまった感じにも見えるところもある。町として改善していただければ、今いる人たちで子どもをもっと産むとか、結婚していない人を結婚させるではなくて、若い世代がもっと町に入ってきて、家族をつくって行って、人口の増加に繋げるような取り組みをもっとしていただきたいなと思っている。

【回答4】

土地のブランド化というお話があったが、須賀川地域における廃ホテル等の問題もクローズアップされている内容だが、ご承知のとおり建物には所有者がいて、所有者が壊すべきものだが、倒産等ということで当然資金がないのでそのままになってしまっている。それを町が代行して壊すということになると、所有者が本来壊すべきところに町費を投入して壊しました、所有者に資金がないので解体費は徴収できませんということになると、ほかの地域の方にとっては大事な町の税金をそこに投入したことはどうなのか、ということは当然問題になってくる。法律の範囲内で出来る限り町も対応していきたいと思っているが、今後法律改正等があるかもしれませんが、その中で対応させていただきたいと思っている。だからといって何もしませんということではないので、引き続き進めていきたいと思っている。

また、この地域が素晴らしいというお話もいただいております。悪いところだけを挙げるのではなく、この須賀川地域の良いところもかなりあると思っている。町内でも須賀川地域はどちらかと言えば山の中と認識されているし、実際そうだと思う。だからこそ、須賀川はエアコンなしでも窓を開けておけば涼しいということもある。夏は非常に快適ですが、ただし冬は雪があるということで、住みづらいとなっているかもしれないが、自然環境豊かであることも自慢のひとつではないかと思っている。決して自分の地域が劣っているという考え方ではなく、こういう素晴らしい地域に住んでいるからこそ、今後住み続け

るにはどういった形にしていけば良いのかということを考えていただければ有難いと思っている。

【回答 4－1－2】

懇談会なので私の感想も言わせていただきたい。今まで懇談会をやってきて、だいたいこういう場では良い話は出て来ないが、今、須賀川が素晴らしいと言っていた。ご意見いただいた方のように、町民の皆さんが、自分の地区って良いよねって思っていたけるようなことを町として皆さんに発信することによって、町民全員が町外の方に、1人の方が1人に言ってもらったら、1万2千人の町外の方が山ノ内は良いところなのかなと思ってもらえると思う。今考えているのは、町民の方に山ノ内って良いところだと思ってもらえるプロモーションをしていきたい。山ノ内町は町外に対するプロモーションはすごく得意ですが、懇談会でご意見をいただく中で、町内に対しては少し欠けているのかなと思いますので、ひとりでも多く、ここが素晴らしいと思ってもらえる人を増やしたいなと思っています。

【発言 5】

子どもに関することで、現状は北小・西小統合という形になっているが、その当時の話だと段階的にひとつの小学校に統合していく話があったかと記憶しているが、それに関しては白紙に戻ったのか、それとも継続して協議しているのか。

【回答 5】

本日教育委員会が来ておりませんので、詳細については難しいですが、概況だけお話しさせていただきます。

ご意見でもあったとおり、平成 27 年の 8 月に総合教育会議が開催されて、平成 28 年度をもって北小学校を閉校して児童は西小学校へ通学するということと、1 校統合は北小学校児童が小学在学時 2 回統合回避のため、平成 34 年度を目標にするということと、令和 4 年度になるわけだが、その中で小中連携教育が実施しやすいように現中学校敷地内に小学校を増築するという話が当時されている。その中で、中学校の敷地内に小学校を増築することについて検討を進めてきたわけだが、様々な事情があり、たとえば体育館の問題、グラウンドの問題、学級数の問題等を色々と検討した結果、今の中学校の敷地内に統合小学校を増設することは難しいという結論になっている。その後の方向性については、平成 34 年度・令和 4 年度にこだわらず計画するということと、出生の数が 50 を切ってきたら統合を考えていったらどうかということと、山ノ内町の教育ビジョンをしっかりと示していくことが大事だと。早急に統合ということでなければ令和 4 年にこだわることはないということと、最終的な方針案として、将来 1 校統合という方向は変えない。令和 4 年度の中学校の敷地に小学校を増築・統合することは断念する。当面現 3 校体制を続け、出生数が 50～60 人程度が継続する見込みとなったときは改めて 1 校統合を進めていく。あとは教育ビジョンを示していく。1 年間の出生数が 50～60 人という現状を考えると、ここで新たに統合に関する協議を進めていくことになろうかと思う。8 月 7 日に総合教育会議が

開催されるので、その中で、話もされることになるかと聞いている。

【発言 5－2】

状況はわかった。実際にうちの子どもは北小から西小へ統合になり、現在、息子が中学校2年生、娘が小学校6年生。長男は当時同級生の男子が北小で2人しかいないという中で、統合されて、大勢の男子の友達ができ、ものすごく前向きになっていった部分もあるし、中学では地域問わず町内全体に友達ができ喜んで行っている。以前統合のための懇談会の時にも意見したのは、地域に小学校があった方が良くと思うが、自分達が子どものは同級生がたくさんいて、地元に戻ってくれば同級生がいるなという中で、ここがふるさとと思えたが、自分の息子を見たときに、地域に同級生の男の子が1人しかなくて、その1人がもし将来帰ってこなければ、ここには自分の友達がいなくて、ふるさとではなくなってしまうような感覚が生まれることを心配していた。実際自分の中学校の同級生も、子どもの頃は地域なんてあまり深く考えていなかったから、中学校に行ったら、北部ではほかの地区とは別なんだなんて思わなかったし、山中の同級生、町内にみんな同級生がいるという感覚だった。大人になって戻ってくると、いろんなことが北部地域の役で固められていくので、また町内全体から分断されていく雰囲気もあるが、子どもたちがこのふるさとに戻ってくる理由、土地だけではないと思っている。ここに暮らす小さいころからの同級生や幼馴染が地域に残っているから、戻りたい。そういう形をとっていくためには、できるだけ早く統合して、町内全域の子どもが全員同級生・幼馴染だと思えるような形をとってってもらおうほうが将来があるのではというのが個人的な考え。

【回答 5－2】

貴重なご意見をありがとうございます。その旨は教育委員会に伝えたいと思いますし、統合にあたっては準備委員会という形でこの統合に関する組織ができると思う。その中でおそらく各地域の方、保護者の方にご相談をする機会があるかと思うので、今日のお話は教育委員会にもしっかり伝えておくが、そういった機会に、ぜひ積極的にご意見をいただけると良いのかなと思いますので、引き続きよろしく申し上げます。

4 その他

SUGUメール登録のお願い（企画係長）

- ▶ 質疑等特になし

5 閉会（総務課長）

以上